



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月28日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5727 URL <https://www.toho-titanium.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山尾 康二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部企画グループマネージャー (氏名) 留場 啓 TEL 045-394-5521  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 2021年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	26,280	58.4	2,622	143.9	2,583	—	1,871	—
2021年3月期第2四半期	16,589	△22.9	1,075	△36.8	△97	—	△290	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,846百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △285百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	26.30	—
2021年3月期第2四半期	△4.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	94,791	45,715	48.1
2021年3月期	91,149	44,459	48.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 45,583百万円 2021年3月期 44,327百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2022年3月期	—	6.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,100	60.7	4,700	49.9	4,500	—	3,200	—	44.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日 (2021年10月28日) 公表いたしました「2022年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	71,270,910株	2021年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	98,211株	2021年3月期	98,177株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	71,172,705株	2021年3月期2Q	71,172,935株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料、決算説明会内容の入手方法）

・決算説明会は、2021年11月11日に開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による個人消費の低迷を受け、非製造業が依然として厳しい状況に置かれる一方、欧米等の先進国経済の回復や中国経済の底堅さによる輸出型製造業で持ち直しの動きも見られる等、業種間で違いが見られました。

当社を取り巻く足元の事業環境については、チタン需要の持ち直しや電子部品材料の需要拡大により各製品の販売が総じて堅調に推移している一方、原材料価格の高止まり、エネルギーコストの上昇、輸出輸送コストの大幅上昇等が収益を圧迫する要因となっているほか、国内外の感染症の再拡大による影響など製品需要の先行き不透明感も払拭できていません。

こうした中、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高262億80百万円(前年同期比58.4%増)、営業利益26億22百万円(同143.9%増)となりました。経常損益は25億83百万円の利益(前年同期は97百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は18億71百万円の利益(前年同期は2億90百万円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## 金属チタン事業

当第2四半期連結累計期間における金属チタンの販売に関しては、主に一般工業用途向けであるインゴット販売が引き続き低調であったものの、航空機用途向けを主とするスポンジチタンについては、前年度から先送りされてきた製品引き取りを含む、顧客による一時的な在庫積み増しによる販売増等により、前年同期を上回る水準で推移しました。また、半導体用途向け高純度チタンの需要は引き続き堅調に推移しました。なお、当社チタン事業の需要動向を総体的に見ると、主力製品であるスポンジチタン需要に回復の兆しが見られ、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けサプライチェーン全体で生産活動が停滞した前年度の最悪期からは脱しつつあるものと推定されます。

しかしながら、収益面では前年度の低稼働時に生産された高単価在庫品の払出や輸送費の高騰による販売費の増加等によってマージンは悪化しています。

こうした状況のもと、同期間の金属チタン事業は、売上高は142億53百万円(前年同期比74.8%増)、営業利益は2億22百万円(前年同期は39百万円の損失)となりました。

## 触媒事業

当第2四半期連結累計期間における触媒の販売に関しては、主要製品であるプロピレン重合用触媒の顧客の市場において包装用途、医療用途向けが好調に推移したことに加え、前年度末に販売予定であった製品の一部期ズレ計上の影響もあり、前年同期を上回る水準となりました。

こうした状況のもと、同期間の触媒事業は、売上高は39億67百万円(前年同期比16.8%増)、営業利益は16億65百万円(同27.6%増)となりました。

## 化学品事業

当第2四半期連結累計期間における化学品の販売に関しては、主要製品であるニッケル粉の主な用途である積層セラミックコンデンサー(MLCC)が、前年度前半のコロナ禍影響による需要減退から回復したことに加え、5G通信関連の需要増、さらに巣ごもり需要等の効果でPC・タブレットの販売が好調に推移したことにより、前年同期を大幅に上回る水準となりました。

こうした状況のもと、同期間の化学品事業は、売上高は80億60百万円(前年同期比60.0%増)、営業利益は25億91百万円(同110.0%増)となりました。

## セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区分	2022年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	14,253	8,154	74.8%
触媒事業	3,967	3,397	16.8%
化学品事業	8,060	5,037	60.0%
合計	26,280	16,589	58.4%

## セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区分	2022年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	222	△39	—%
触媒事業	1,665	1,305	27.6%
化学品事業	2,591	1,233	110.0%
全社費用	△1,856	△1,424	—
合計	2,622	1,075	143.9%

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売掛債権等及び有形固定資産の増加により、前連結会計年度末比36億41百万円増の947億91百万円となりました。

負債の部は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末比23億86百万円増の490億76百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加により前連結会計年度末比12億55百万円増の457億15百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.6%から48.1%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は31億1百万円と期首に比べ5億66百万円の増加となりました。キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、61億14百万円の収入となりました。これは減価償却費29億42百万円、仕入債務の増加8億円の資金増加要因の一方で、売上債権の増加15億71百万円等の資金減少要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、63億49百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出62億35百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億4百万円の収入となりました。これは長期借入金の純増額17億69百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2021年7月29日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日(2021年10月28日)公表の「2022年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,534	3,101
受取手形及び売掛金	7,132	8,453
電子記録債権	110	135
商品及び製品	18,670	16,909
仕掛品	5,069	5,880
原材料及び貯蔵品	8,870	9,788
未収入金	2,151	1,444
その他	567	392
流動資産合計	45,106	46,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,942	13,796
機械装置及び運搬具（純額）	16,849	20,440
工具、器具及び備品（純額）	261	266
土地	2,219	2,219
リース資産（純額）	2,411	2,251
建設仮勘定	8,146	5,761
有形固定資産合計	41,830	44,736
無形固定資産		
ソフトウェア	141	1,182
ソフトウェア仮勘定	1,144	148
その他	37	33
無形固定資産合計	1,323	1,364
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	187	191
繰延税金資産	2,065	1,747
退職給付に係る資産	359	368
その他	272	270
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,889	2,583
固定資産合計	46,042	48,684
資産合計	91,149	94,791

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,214	3,015
短期借入金	20,271	19,921
リース債務	468	460
未払法人税等	352	385
賞与引当金	567	809
役員賞与引当金	-	55
その他	3,004	2,692
流動負債合計	26,878	27,340
固定負債		
長期借入金	16,352	18,171
リース債務	2,276	2,046
資産除去債務	1,183	1,518
固定負債合計	19,811	21,736
負債合計	46,690	49,076
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	19,710	20,991
自己株式	△77	△77
株主資本合計	44,619	45,900
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	7	-
為替換算調整勘定	△452	△454
退職給付に係る調整累計額	151	137
その他の包括利益累計額合計	△292	△317
非支配株主持分	132	131
純資産合計	44,459	45,715
負債純資産合計	91,149	94,791



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	16,589	26,280
売上原価	12,769	19,840
売上総利益	3,819	6,440
販売費及び一般管理費	2,744	3,817
営業利益	1,075	2,622
営業外収益		
為替差益	-	36
物品売却益	7	14
持分法による投資利益	-	5
その他	52	23
営業外収益合計	60	80
営業外費用		
支払利息	80	89
持分法による投資損失	1,079	-
為替差損	44	-
支払補償費	3	27
その他	24	3
営業外費用合計	1,232	120
経常利益又は経常損失(△)	△97	2,583
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	23	38
特別損失合計	23	38
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△120	2,544
法人税、住民税及び事業税	27	311
法人税等調整額	143	361
法人税等合計	171	673
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△291	1,871
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△290	1,871

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△291	1,871
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△9	△7
為替換算調整勘定	△0	△2
退職給付に係る調整額	16	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	-
その他の包括利益合計	6	△24
四半期包括利益	△285	1,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△284	1,846
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△120	2,544
減価償却費	2,695	2,942
賞与引当金の増減額(△は減少)	△338	242
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△4	△9
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	80	89
持分法による投資損益(△は益)	1,079	△5
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	-
固定資産除却損	23	38
売上債権の増減額(△は増加)	2,022	△1,571
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,151	30
仕入債務の増減額(△は減少)	△107	800
未収入金の増減額(△は増加)	384	706
その他	△443	658
小計	△882	6,465
利息及び配当金の受取額	1	3
利息の支払額	△81	△87
法人税等の支払額	△194	△267
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,155	6,114
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,605	△6,235
無形固定資産の取得による支出	△207	△113
関係会社株式の取得による支出	△45	-
その他	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,858	△6,349
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000	△300
長期借入れによる収入	6,000	3,000
長期借入金の返済による支出	△1,850	△1,230
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△265	△238
配当金の支払額	△427	△427
非支配株主への配当金の支払額	△1	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,454	804
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△560	566
現金及び現金同等物の期首残高	2,641	2,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,081	3,101

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、顧客との契約における対価に変動対価が含まれている場合には、変動対価の額に関する不確実性が事後的に解消される際に、解消される時点までに計上された収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り、変動対価を取引価格に含めております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は184百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益も同額増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は163百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,154	3,397	5,037	16,589	—	16,589
セグメント間の内部売上高又は振替高	637	—	1	639	△639	—
計	8,792	3,397	5,038	17,229	△639	16,589
セグメント利益又は損失(△)	△39	1,305	1,233	2,499	△1,424	1,075

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,424百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,253	3,967	8,060	26,280	—	26,280
セグメント間の内部売上高又は振替高	958	—	2	960	△960	—
計	15,212	3,967	8,062	27,241	△960	26,280
セグメント利益	222	1,665	2,591	4,478	△1,856	2,622

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,856百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。